

# FUJITSU Software

## SIMPLIA TF-MDPORT Pro (64bit) V81L20

### リリース情報

Windows(64)

SIMPLIA-MDPWI64-02-JP81(03)  
2024年3月

# まえがき

本書は、SIMPLIA TF-MDPORT Proのリリース情報について記述しています。

## 本書の目的

旧版からの機能追加に関する情報を説明しています。

旧版を使用していたお客様が、より円滑に本製品に移行できることを目的としています。

## 本書の読者

旧製品を導入されており、本製品への移行を検討されている方、または移行中の方を対象としています。

## 本書の構成

以下の構成で記述しています。

- ・ [第1章 追加機能の概要](#)

追加された機能の概要について説明します。

## 本書の表記について

本書では、説明するうえで、次の略記を使用しています。

|   |   |                       |
|---|---|-----------------------|
| 「Windows(R) 11 Home」、<br>「Windows(R) 11 Pro」、<br>「Windows(R) 11 Enterprise」、または<br>「Windows(R) 11 Education」  | → | 「Windows 11」          |
| 「Windows(R) 10 Home」、<br>「Windows(R) 10 Pro」、<br>「Windows(R) 10 Enterprise」、または<br>「Windows(R) 10 Education」  | → | 「Windows 10」          |
| 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter」、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard」、または<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Essentials」 | → | 「Windows Server 2022」 |
| 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter」、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard」、または<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Essentials」 | → | 「Windows Server 2019」 |
| 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter」、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard」、または<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentials」 | → | 「Windows Server 2016」 |
| 次の製品すべてを指す場合<br><br>Windows 11<br>Windows 10  | → | 「Windows」             |

|   |   |                   |
|---|---|-------------------|
| Windows Server 2022                                 |   |                   |
| Windows Server 2019                                 |   |                   |
| Windows Server 2016                                 |   |                   |
| 「Interstage Charset Manager Standard Edition Agent」 | → | 「Charset Manager」 |
| 「SIMPLIA TF-MDPORT Pro (64bit)」                     | → | 「MDPORT」          |

## 輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

## 登録商標について

本書で使われている登録商標および商標は、以下のとおりです。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edge、その他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Excelは、米国Microsoft Corporationの製品です。
- そのほか、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では、™マーク、®マークは省略しています。

2024年3月

Copyright 1994-2024 FUJITSU LIMITED

# 目 次

---

|                  |   |
|------------------|---|
| 第1章 追加機能の概要..... | 1 |
|------------------|---|

## 第1章 追加機能の概要

以下に、V81L11からV81L20へのエンハンス事項を示します。

- Micro Focus COBOLの符号に対応しました。
- CSV形式の入力で、入力データの前置ブランクカット有無選択ができる機能を追加しました。

以下に、V81L10からV81L11へのエンハンス事項を示します。

- Windows 11、Windows Server 2022に対応しました。
- 数値項目から数値文字列への変換を改善しました。

以下に、V80L31からV81L10へのエンハンス事項を示します。

- MDPORTLCコマンド機能、レコード変換機能、データ加工機能に対応しました。
- Windows Server 2019に対応しました。
- 他社コード(IBM/KEIS/JIPS(E)/JIPS(J))とUnicode(UCS-2/UTF-8)間の変換に対応しました。
- 同一コード無変換出力機能の設定値を基本機能のメイン画面に追加しました。
- マニュアルの動作保証ブラウザとして、Microsoft Edgeに対応しました。